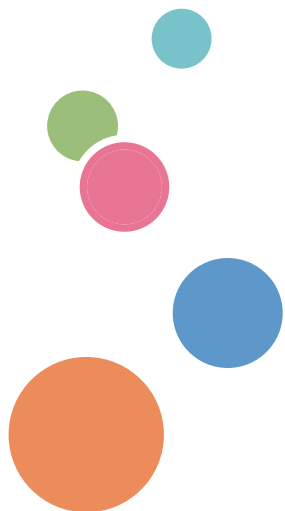


## 取扱説明書

安全上のご注意	1
はじめに	2
基本的な操作	3
各種設定のしかた	4
故障かな…と思ったときは	5
フィルターの清掃・交換	6
付録	7



ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。  
また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。  
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。



<b>もくじ</b> .....	<b>1</b>	ノートパソコンと接続する.....	30
この本の読みかた.....	3	映像機器と接続する.....	31
正しくお使いいただくために.....	3	USBでの接続.....	32
本書についてのご注意.....	3	電源の入れかたと切りかた.....	33
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>4</b>	電源を入れる.....	33
安全上のご注意.....	4	電源を切る.....	34
表示について.....	4	インジケーターによる警告表示.....	35
守っていただきたいこと.....	5	入力信号について.....	36
安全に関する本機の表示.....	16	投写映像を調整する.....	38
警告・注意のラベル位置について.....	16	投写映像のゆがみを調整する.....	38
電源スイッチの記号.....	17	画面の大きさとピントを調整する.....	39
使用上のごお願い.....	17	レンズシフト調整.....	40
本製品の取り扱いに関すること.....	17	投写映像の大きさを調整する.....	41
お手入れに関すること.....	17	<b>各種設定のしかた</b> .....	<b>43</b>
映像の著作権について.....	18	メニューを使う.....	43
法律上の禁止事項.....	19	操作のしかた.....	43
海外輸出規制.....	19	映像調整.....	44
電波、高調波電流に関する事項.....	19	表示設定.....	47
電波障害についての注意事項.....	19	初期設定.....	52
高調波電流規格についての事項.....	19	音声.....	55
廃棄について.....	19	オプション.....	56
本製品に含まれるGPL/LGPL等		メモリービューワー.....	59
適用ソフトウェアの		USBメモリー画像の表示.....	60
ライセンスについて.....	20	<b>LAN制御機能</b> .....	<b>62</b>
<b>はじめに</b> .....	<b>21</b>	ウェブブラウザで本機を制御する... 62	
同梱品の確認.....	21	本機へ接続する.....	62
本体各部の名称.....	22	ログインする.....	63
入出力端子.....	23	システム状態(System Status).....	64
本体操作部.....	24	設定(General Setup).....	65
リモコン.....	25	映像調整(Picture Setup).....	65
リモコンの電池.....	27	画像調整(Image Setup).....	66
初回使用时.....	27	ネットワーク設定	
電池交換.....	27	(Network Setting).....	67
リモコンの有効操作範囲.....	28	プロジェクト管理ユーティリティーで	
360度設置について.....	29	本機を制御する.....	68
<b>基本的な操作</b> .....	<b>30</b>	プロジェクト管理ユーティリティーにつ	
接続する.....	30	いて.....	68
コンピューター/		プロジェクト管理ユーティリティーをイ	
		ンストールする.....	68
		プロジェクトを登録する.....	69

# もくじ

プロジェクター管理ユーティリティーでプロジェクターを制御する..... 73

**故障かな・・・と思ったときは... 74**

**フィルターの清掃・交換..... 79**

フィルターの清掃・交換の前に..... 79

フィルターの清掃・交換..... 79

**付録..... 80**

対応信号一覧表..... 80

端子の形態..... 84

端子：コンピューター入力端子  
(ミニDサブ15ピン)

[モニター出力端子]..... 84

端子：PC制御 (Dサブ9ピン)..... 84

仕様..... 85

外形寸法..... 86

商標..... 87

# この本の読みかた

## 正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

## 本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

# 安全上のご注意

## 安全上のご注意

安全に関する注意事項を説明します。

### 表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

#### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 表示の例

安全表示の例です。



△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⊘ の中に具体的な禁止内容が描かれています。  
(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

● の中に具体的な指示内容が描かれています。  
(左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します)

## 守っていただきたいこと

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

### 接地接続について守っていただきたいこと

#### ⚠ 警告

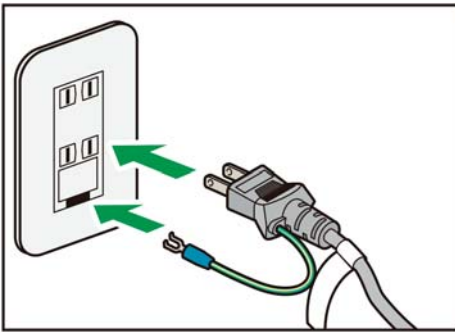


- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース線は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）を行っているアース線

#### 1. アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



### 使用環境について守っていただきたいこと

#### ⚠ 警告



- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告



- 本製品とその付属品を幼児・子供の手の届かないところに設置・保管してください。幼児・子供の手の届くところに設置・保管すると、けがの原因となります。

## ⚠ 警告



- 機械の近くや内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。また、機械の近くや内部に置かないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意



- この機器の上にものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。

## ⚠ 注意



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

## ⚠ 注意



- 雨天時、降雪時、水辺など、水がかかる恐れのある環境では使用および設置をしないでください。火災や感電の原因となります。



# 安全上のご注意

## ⚠注意



- 排気口に手や顔を近づけないでください。排気口から熱風が出るため、やけどや事故の原因になります。

## ⚠注意



- 紙や布などのやわらかいものの上で本機を使用しないでください。吸気口に吸着して内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

## ⚠注意



- 本機を風通しの悪い場所には設置しないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。

## ⚠注意



- 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くなど温度が高くなる場所には、設置・保管をしないでください。熱による外装の変形や劣化、本機内部の部品へ悪影響が起こり、火災の原因となることがあります。

## ⚠注意



- 使用中は排気口近くに熱に弱いものを置かないでください。排気口から熱風が出るため、変形や事故の原因になります。

## ⚠注意



- 本機の吸気口または排気口をふさがしないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

# 安全上のご注意

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて守っていただきたいこと

## ⚠ 警告



- 電源プラグは交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外のコンセントを使用すると、火災・感電の原因となります。

## ⚠ 警告



- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因となります。

## ⚠ 警告



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因となります。

## ⚠ 警告



- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因となります。

## ⚠ 警告



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因となります。

## ⚠ 警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

## ⚠ 警告



- 接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときは使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときはサービス実施店に交換を依頼してください。

## ⚠ 警告



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - 電源プラグに焦げ跡がある
  - 電源プラグの刃が変形している
  - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
  - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
  - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
  - 電源コードの一部が熱くなる
  - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 延長コードやテーブルタップを使用するときは、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードやテーブルタップの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

## ⚠ 警告



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

## ⚠ 注意



- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。電源コードは根元まで正しい向きでしっかり差し込んでください。発煙、発火、火災、感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠注意



- ・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ⚠注意



- ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

## ⚠注意



- ・電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

## ⚠注意



- ・お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

## ⚠注意



- ・電源コードや接続ケーブルは足を引っ掛けて転倒したりしないように配線してください。本機が落下してけがの原因となることがあります。

本体の取り扱いについて守っていただきたいこと

## ⚠警告



- ・万一、煙が出ている、へんなにおいがあるなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告



- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 近くで落雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
  - 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

## ⚠ 警告



- 機械を落としたり、カバーなどを破損したときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意



- 電源オフ直後の本機（特に排気口、ランプの周りなど）は高温になっていますので触らないようにしてください。やけどの原因になることがあります。

## ⚠ 注意



- 動作時にレンズの前に物を置かないでください。物が高温になり、やけどや火災の原因になる場合があります。映像を一時的に消す場合にはリモコンまたは本体のAVミュートをお使いください。

# 安全上のご注意

## ⚠注意



- 本機を他の機器に積み重ねたり、本機の上に他の機器を載せたりしないでください。本機内に熱がこもり故障の原因になるほか、他の機器へ悪影響を与えることがあります。

## ⚠注意



- 音声が出力される前に音量を上げすぎないでください。また、電源を切る前には音量を下げてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

## ⚠注意



- 本機を長時間連続して（10時間/日を超えて）使用する場合は、あらかじめテクニカルコールセンターにご相談ください。

## ⚠注意

機械内部の取り扱いについて守っていただきたいこと

## ⚠警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠注意



- 機械内部の掃除をサービス実施店に相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、機械内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。

# 安全上のご注意

## 天吊り・壁掛け設置について守っていただきたいこと

### ⚠ 警告



- ・天吊り・壁掛け設置しているときは、本機を清掃したり、部品の交換をしたりしないでください。落下によるけがの原因になります。
- ・天吊り・壁掛け設置しているときは、本機の清掃や部品の交換を販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

### ⚠ 警告



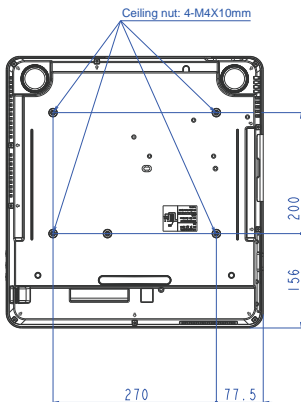
- ・本機为天吊り・壁掛け設置は、正しく設置されていないと落下などによる事故の原因となります。天吊り・壁掛け設置は、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。
- ・本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

## お客様へ

- ・本機を天吊り・壁掛け設置するときは、お客様ご自身でせず販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

## 設置をされるかたへ

- ・本機の質量（約10.9kg）に耐えられる強度の金具を使用してください。
- ・本機と金具の総質量に耐えられる強度の場所だけに設置してください。
- ・金具の取り付けには、M4ねじ（プロジェクター内最大10mm）4本を使用してください。
- ・壁掛け・天吊り用のねじ穴は、本機底面の次の4カ所にあります。金具の取り付けにはすべてのねじ穴を使用して、ねじがしっかりと締まっているか確認してください。



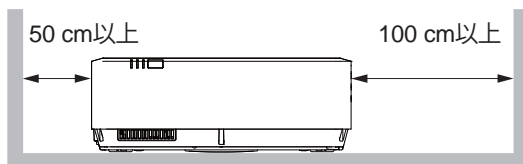
# 安全上のご注意

設置について守っていただきたいこと

## ⚠ 注意



- 本機を並べて配置する場合プロジェクターを100cm以上離して設置してください。また、吸気口側を50cm以上、排気口側を100cm以上、壁との間隔を離して設置してください。プロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。



## ⚠ 警告



- 360度設置を行う場合は本機の設置は、正しく固定されていないと落下などによる事故の原因となります。販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

## ⚠ 注意



- 360度設置を行う場合、吸気口側を50cm以上、排気口側を100cm以上、壁との間隔を離して設置してください。プロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。



## 電池について守っていただきたいこと

### ⚠警告



- 電池は、次の注意事項を守って安全に使用してください。電池の使い方を誤ると、電池の液もれや破裂により、火災やけがの原因になることがあります。
  - 指定された電池以外は使用しないでください。
  - 極性（+、-）を正しく入れてください。
  - 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まないでください。
  - +極と-極を針金などで接続しないでください。
  - 使い切った電池はリモコンからすぐに取り出してください。
  - 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

### ⚠警告



- 電池は、子供の手に触れないようにしてください。リモコンの電池カバーがはずれやすいときは、リモコンの使用をやめ、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って電池を飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

## 電池から液がもれたときの対処

- もれた液が肌に付着したときは、すぐに水で洗い流し、医師に相談してください。
- もれた液が手につかないように注意してティッシュペーパーなどで拭き取ってください。
- 液を拭き取ったティッシュペーパーなどは、水を含ませてから燃えるゴミとして廃棄してください。

## 電池を廃棄するとき

- 電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。

## 移動について守っていただきたいこと

### ⚠注意



- 本機を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブルをはずしたことを確認してください。コードやケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

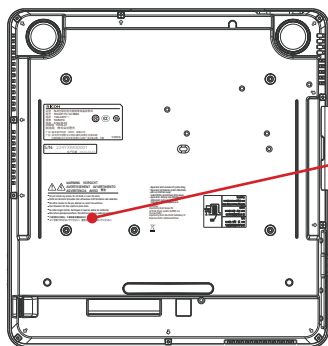
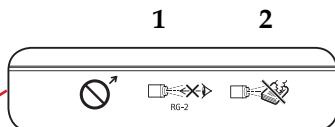
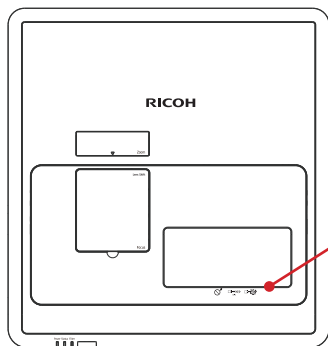
# 安全上のご注意

## 安全に関する本機の表示

本機に表示されている安全に関する情報です。

## 警告・注意のラベル位置について


本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、**⚠警告**、**⚠注意**のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。



1. 動作中はレンズをのぞかないこと。視力障害などの原因となります。
2. 動作時にレンズの前に物を置かないこと。  
物が高温になり、やけどや火災の原因になる場合があります。  
映像を一時的に消す場合にはリモコンまたは本体のAVミュートをお使いください。
3. ネジを取り外さないでください。通気孔をふさがないでください。

## 電源スイッチの記号

本機のスイッチに記されている記号の意味は以下のとおりです。

- ・  : オン/スタンバイの切り替え

## 使用上のお願い

### 本製品の取り扱いに関すること

- ・ 本製品を開梱したあとは、本書をよく読み、すべての操作手順およびその他の指示に従ってください。
- ・ 極端に気温の高低差がある、あるいは湿度の高い場所で使用しないでください。
- ・ 強力な磁場を発生する機器の近くで使用しないでください。
- ・ 本機を持ち運ぶ際は以下の事項をお守りください。
  - ・ 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - ・ 端子からすべてのケーブルをはずしてください。
  - ・ 手で持ち運ぶ場合
    - ・ お買い上げの際に本機がはいっていた梱包箱や堅固なダンボール箱に入れてください。
    - ・ 本製品は約10.9kgあります。本製品を持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、両手でしっかりと持ってください。
  - ・ 輸送する場合  
本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。衝撃による故障を防止するために次の事項をお守りください。
    - ・ 衝撃が伝わらないように本機の周囲を緩衝材などで保護してください。
    - ・ お買い上げの際に本機がはいっていた梱包箱や堅固なダンボール箱に入れてください。
    - ・ 精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。
    - ・ 不明な点は運送業者にご相談してください。
- ・ ゴムやビニール製品などの合成樹脂製品を長時間接触させないでください。外装が変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- ・ 本機を長時間連続して使用すると、故障や寿命を縮める原因となります。

### お手入れに関すること

- ・ お手入れをする前に、本機の電源を切ってください。
- ・ 本体のお手入れには中性洗剤を浸したやわらかい布を使用してください。
- ・ ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。変形、変色、塗装がはげるなどの

# 安全上のご注意

原因となります。

- 研磨剤入り洗剤、ワックス、溶剤を使用しないでください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。
- 排気口や吸気口にたまったほこりなどは、定期的に取り除いてください。排気口や吸気口が目詰まりすると、本機内の空気の流れが悪くなり、故障の原因になることがあります。

## 映像の著作権について

次の行為は権利者に無断で行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

本機を使用するときは、著作者の権利を侵害しないよう注意してください。

- 営利目的で映像などを投写する行為
- 営利目的または公衆に視聴させる目的で、フリーズ、部分拡大、ズーム機能などを使用

して、映像などを改変する行為

- ・営利目的または公衆に視聴させる目的で、画面サイズ切り換え機能を使用して、映像などの縦横比を改変する行為

## 法律上の禁止事項

### 海外輸出規制

安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国により異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

## 電波、高調波電流に関する事項

### 電波障害についての注意事項

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- ・コンセントを別にする。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

### 高調波電流規格についての事項

高調波電流規格 JIS C61000-3-2適合品

## 廃棄について

# 安全上のご注意

本機または使用済み電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合わせください。

## 本製品に含まれるGPL/LGPL等適用ソフトウェアのライセンスについて

・本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) そのほかに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属のCD-ROM内の、readme.pdfをご参照ください。readme.pdfは「OSS」フォルダー内の「about GPL & LGPL」フォルダに格納されています。

## 同梱品の確認

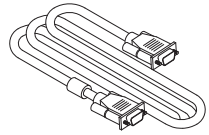
本製品には以下の同梱品が含まれます。ご使用前に同梱品がすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものがあるときは、すぐにお買い上げの販売店に連絡してください。



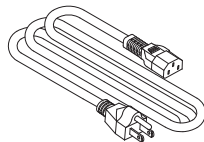
プロジェクター本体



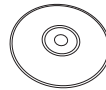
リモコン  
(単4電池つき)



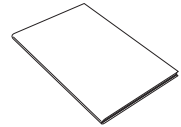
RGBケーブル



電源コード



CD-ROM (\*1)



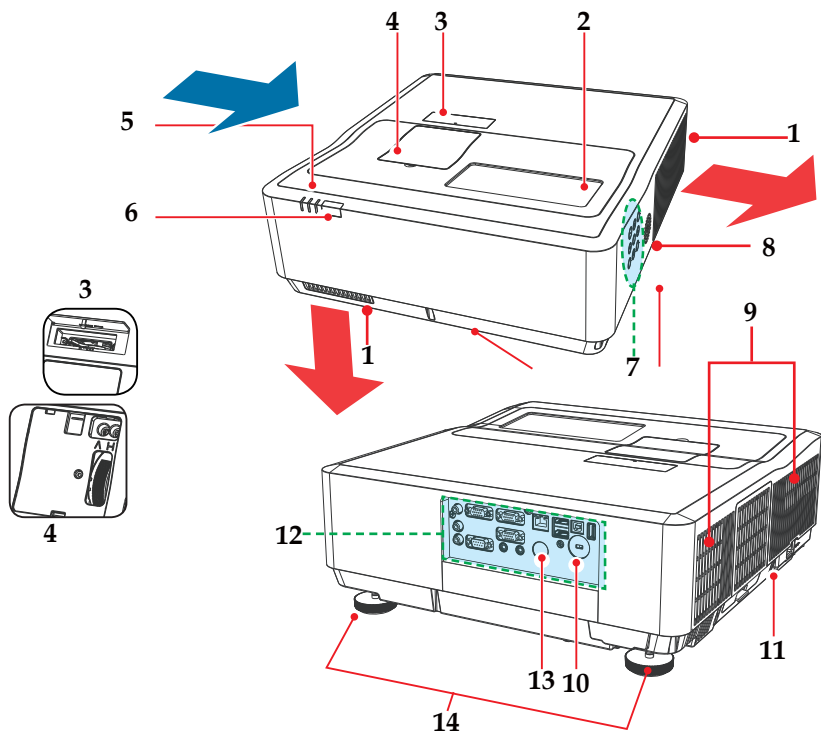
はじめにお読みください

### 補足

❖ (\*1) 付属の CD-ROM には PDF 形式のユーザーマニュアルとプロジェクター管理ユーティリティが収録されています。

- 保証書
- マイバンク & QA登録票
- リコーテクニカルコールセンターシール

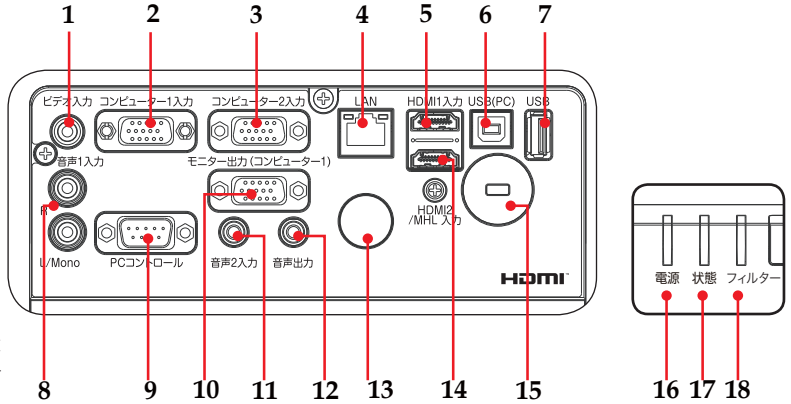
## 本体各部の名称



1. 排気口
2. 投写窓
3. ズームレバー
4. フォーカスリング レンズシフトダイヤル
5. インジケーター
6. リモコン受光部 (前)
7. 本体操作部
8. スピーカー
9. 吸気口
10. 盗難防止ロック穴 (ケンジントン™ ロック)
11. AC ソケット
12. 入出力端子
13. リモコン受光部 (後)
14. アジャスタブルフット



## 入出力端子



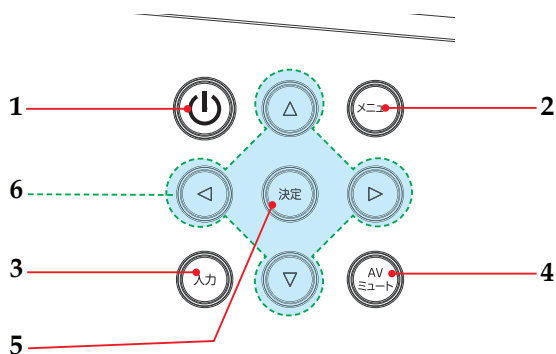
### 補足

※ (\*) モニター出力は  
Computer In の信号  
のみ対応

1. ビデオ入力端子
2. コンピューター 1 入力端子
3. コンピューター 2 入力端子
4. LAN 端子
5. HDMI 1 入力端子
6. 本機では使用しません
7. USB 入力端子 (メモリービューワー)
8. 音声 1 入力端子 (R, L/Mono)
9. PC コントロール端子
10. モニター出力端子 (\*)
11. 音声 2 入力端子
12. 音声出力端子
13. リモコン受光部
14. HDMI 2/MHL 入力端子
15. 盗難防止ロック穴 (ケンジントン™ ロック)
16. 電源インジケータ
17. 状態インジケータ
18. フィルターインジケータ

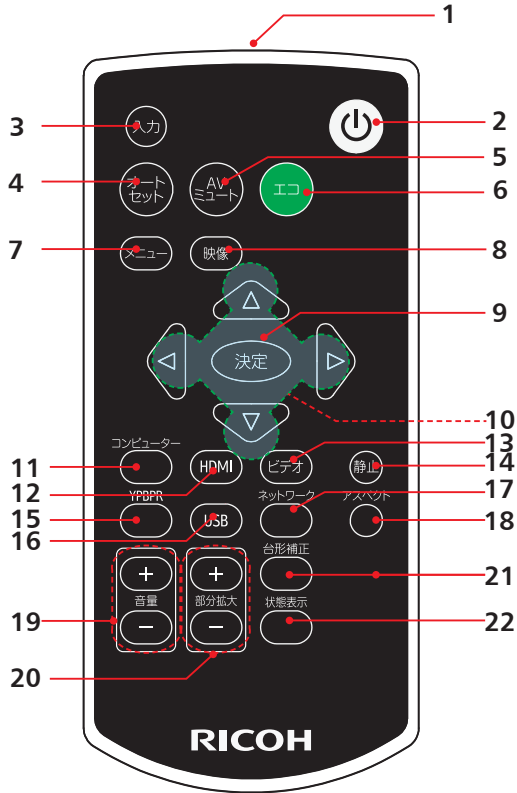
# はじめに

## 本体操作部



1 電源	「電源の入れかたと切りかた」の章を参照してください。(33～34ページ参照)
2 メニュー	調整用のメニューを表示したり、メニューをひとつ前の表示に戻したりします。(43ページ参照)
3 入力	入力信号を選択します。
4 AV ミュート	音声と映像を一時的に消します。もう一度押すともとに戻ります。
5 決定	設定を選択または確定します。
6 4 方向選択キー	▲、▼、◀、▶で項目の選択や調整をします。

## リモコン



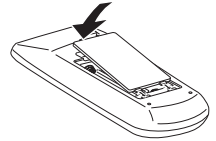
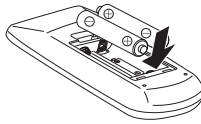
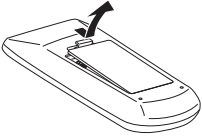
1	送信部	信号を送信します。
2	電源	「電源の入れかたと切りかた」の章を参照してください。(33～34ページ参照)。
3	入力	入力信号を切り替えます
4	オートセット	入力された信号に合わせて映像を自動的に最適に設定を行います。
5	AV ミュート	音声と映像を一時的に消します。もう一度押すともとに戻ります。
6	エコ	光源電力を切り替えます。

# はじめに

7	メニュー	調整用のメニューを表示します。また、サブメニューが表示されているときに、ひとつ前の画面に戻ります。(43ページ参照)
8	映像	「映像モード」メニューを表示します。
9	決定	設定を選択または確定します。
10	4方向選択キー	▲、▼、◀、▶で項目の選択や調整をします。
11	コンピューター	映像信号をコンピューター1、コンピューター2入力に切り替えます。
12	HDMI	映像信号をHDMI1、HDMI2/MHLに切り替えます。
13	ビデオ	映像信号をビデオに切り替えます。
14	静止	映像を静止します。もう一度押すと元に戻ります。
15	YPBPR	映像信号をY/Pb/Prに切り替えます。
16	USB	映像信号をメモリービューワーに切り替えます。
17	ネットワーク	本機では使用しません。
18	アスペクト	「アスペクト比」メニューを表示します。
19	音量+/-	スピーカーの音量を調整します。
20	部分拡大+/-	映像の一部を拡大します。 拡大した映像を縮小します。 (部分拡大)
21	台形補正	本機の傾きによって起こる台形歪みの補正をします。
22	状態表示	本機の動作状態を表示します。

## リモコンの電池 初回使用時

- ① 電池ボックスのロック解除ボタンを押しながら、電池カバーを取ります。
- ② 新品の電池をセットします。(単4電池)
- ③ 電池カバーをセットして、カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



## 電池交換

電池交換時は上記2の手順で古い電池を取り除いて新しい電池をセットします。



安全に使用するため、以下のことに注意してください：

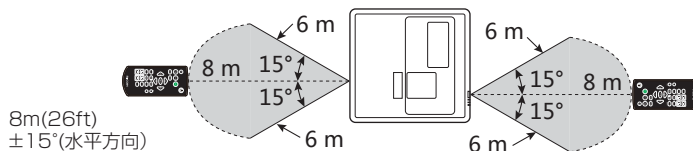
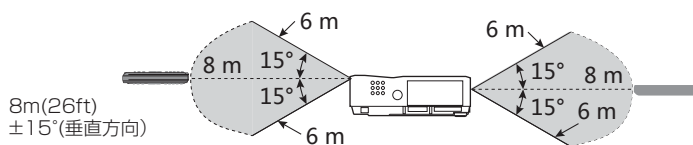
- 電池を火の中に投げたりしないでください。
- 電池を飲み込んだりしないでください。火傷の恐れがあります。
- 新品、使用済みに関わらず、電池は子どもの手の届かない場所に保管してください。

詳細については14ページを参照してください。

# はじめに

## リモコンの有効操作範囲

ボタンを押すときに、リモコンを本機（リモコン受光部）に向けて操作します。リモコンの最大操作範囲は本機の前方向約 8m（26 フィート）、  
± 15°（水平方向）、  
± 15°（垂直方向）です。

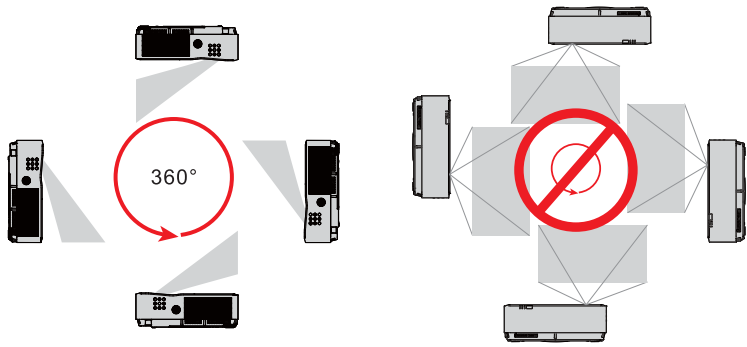


## 360度設置について

本機は、下図の左側の方向に対して360度方向の投影が可能です。右側の図の方向（ポートレート）には対応していません。

本機の質量に耐えられる強度の金具を使用してください。

また、プロジェクターがしっかりと固定されていることを確認してください。



# 基本的な操作

## 接続する コンピューター/ノートパソコンと接続する

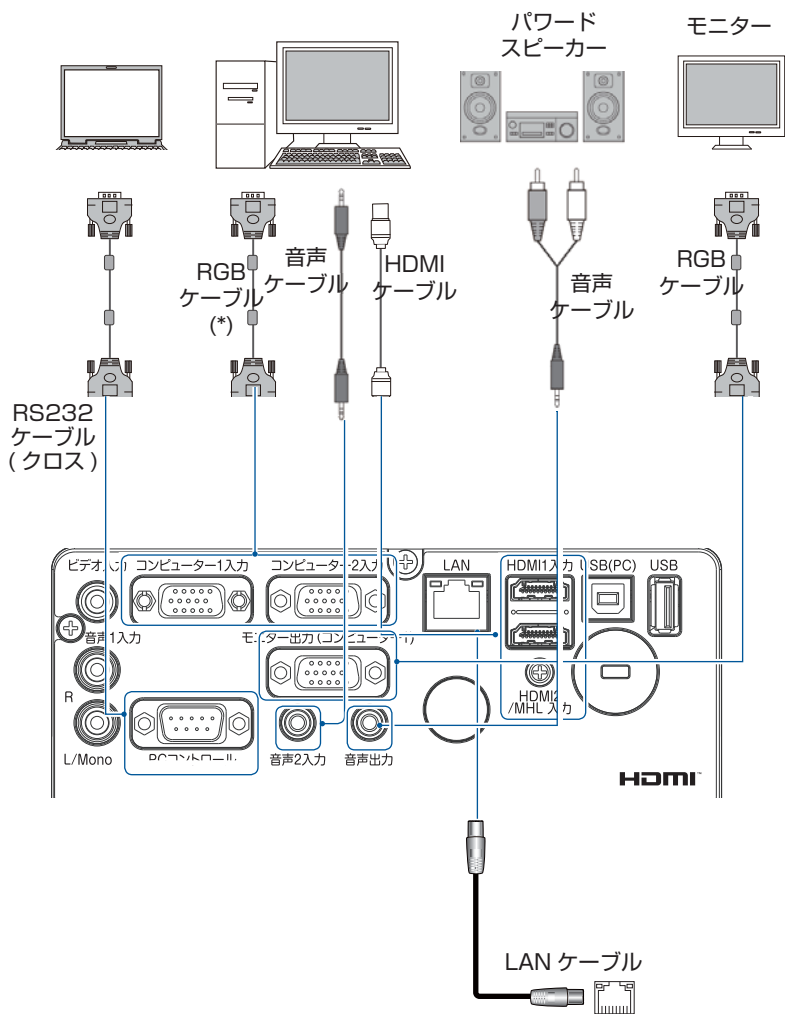
### 補足

❖ 電源プラグがきちんと本機の AC IN ソケットとコンセントの両方に差し込まれているか確認します。

❖ 電源プラグは、本機を設置する場所の最寄りのコンセントに差し込み、常に手の届く状態にしておいてください。

### 補足

❖ 「モニター出力（スタンバイ）」が「オフ」の場合は、プロジェクターがスタンバイモードに移行するとモニター出力と音声出力がオフになります。



- ❖ 信号を正しく表示するために、接続するコンピューターの表示モード（解像度およびリフレッシュレート）が、本機が対応しているものであることを確認してください。（80～89 ページ参照）
- ❖ (\*) 性能を保つため、必ず同梱されているケーブルを使用してください。

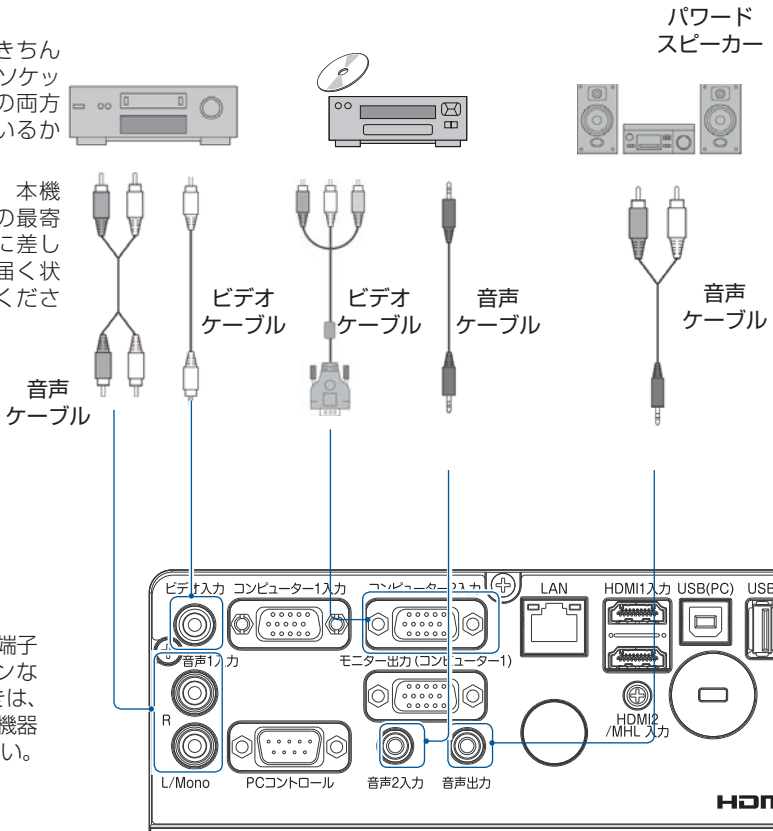


## 映像機器と接続する

### 補足

❖ 電源プラグがきちんと本機の AC IN ソケットとコンセントの両方に差し込まれているか確認します。

❖ 電源プラグは、本機を設置する場所の最寄りのコンセントに差し込み、常に手の届く状態にしておいてください。



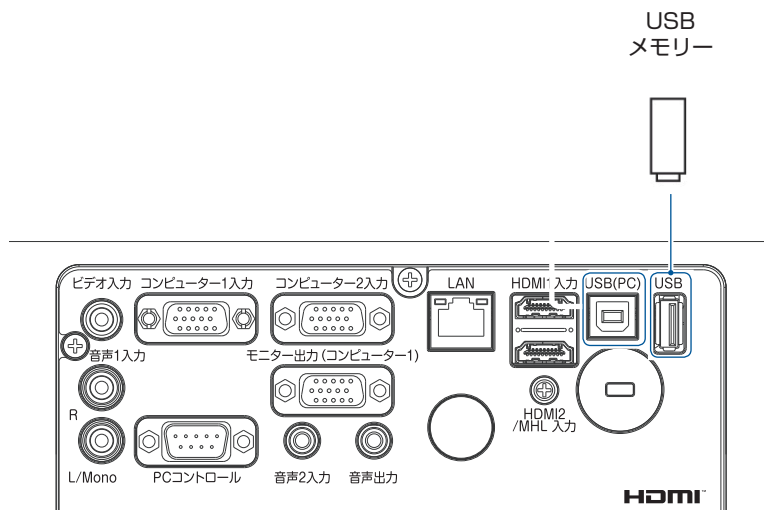
### 補足

❖ HDMI2/MHL 端子にスマートフォンなどを接続するときは、MHL に対応した機器を使用してください。

❖ (\*) 性能を保つため、必ず同梱されているケーブルを使用してください。

# 基本的な操作

## USBでの接続





## 電源の入れかたと切りかた

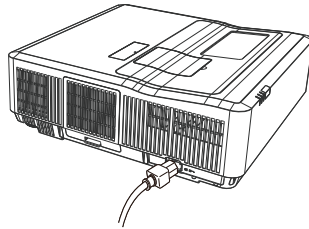
警告：光源点灯中はレンズをのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。

注意：本機の吸気口または排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となります。

注意：排気口の近くや本体の下に手や顔を近づけたり、物を置かないでください。けがや機器の故障の原因となります。

### 電源を入れる

1. 電源コードと信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認します。電源コードをコンセントと本機に接続すると電源インジケータが赤色に点灯します。



2. 本体操作部またはリモコンの[電源]を押して、光源を点灯します。① 電源インジケータが緑色に点滅します。約5秒後に電源インジケータが緑色に点灯し、その後スタート画面が表示されます。
3. プロジェクターを初めて使用する際は、表示言語の選択画面が表示されます。
4. 信号源（コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど）の電源を入れて下さい。本機が自動的に信号を検出します。

自動的に検出できないときは、[自動入力検索]が[入]に設定されていることを確認してください。

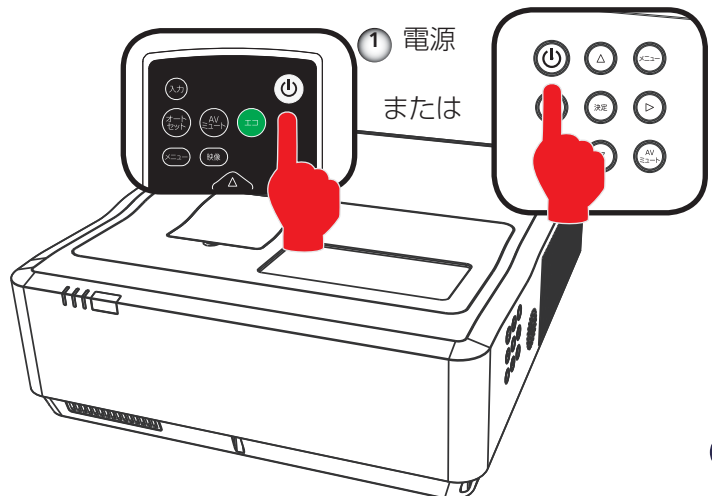
### 補足

※同時に複数の信号を接続している場合は、[入力]を押して信号を切り替えてください。

### 補足

※本機の電源を最初に入れてから信号源の電源を入れます。

※メモリービューワーについてはP60を参照してください。



# 基本的な操作

## 電源を切る

1. [電源] を押すと、画面に以下のメッセージが表示されます。



2. もう一度 [電源] を押すと、光源が消えます。
3. 光源が消灯した後も、冷却ファンは数秒間動作を続けます。この間、電源インジケータが赤く点滅します。冷却が終了すると電源インジケータは赤く点灯して、本機はスタンバイモードに入ります。  
本機の電源を再度入れるときは、本機の冷却が完了し、スタンバイモードに入るまでお待ちください。スタンバイモードに入った状態で [電源] を押すと、プロジェクターが再起動します。
4. 電源コードをコンセントと本機から抜きます。

## インジケーターによる警告表示

電源、状態、フィルターのインジケーターの表示により本機の状態を知る事ができます。警告を示す表示が出た場合は、すぐに本機の使用を止めて、電源コードをコンセントから抜き、サービス実施店に連絡してください。

警告インジケーターの詳細については、77ページを参照してください。

# 基本的な操作

## 入力信号について

本体操作部もしくはリモコンの”入力”ボタンを押して、”コンピューター1”、”コンピューター2”、”Y/Pb/Pr”、”ビデオ”、”HDMI1”、”HDMI2/MHL”、”メモリービューワー”から入力信号を選択します。

コンピューター1  
コンピューター2

HDMI1

HDMI2/MHL

Y/Pb/Pr

ビデオ

メモリービューワー

ネットワーク

USBディスプレイ

### コンピューター1

RGBケーブルでコンピューター1入力に接続された信号を表示します。

### コンピューター2

RGBケーブルでコンピューター2入力に接続された信号を表示します。

### HDMI1

HDMIケーブルでHDMI1入力に接続された信号を表示します。

### HDMI2/MHL

HDMIケーブルでHDMI2入力に接続された信号、もしくはHDMI-MHLケーブルでHDMI2入力に接続された信号を表示します。

### Y/Pb/Pr

Y/Pb/Pr-RGB変換ケーブルを用いてコンピューター2入力に接続されたY/Pb/Prを表示します。

### ビデオ

ビデオケーブルでビデオ入力に接続された信号を表示します。

### メモリービューワー

USB (A) 入力に接続されたUSBメモリー内のファイルを表示します。詳細はP60を参照してください。

### ネットワーク

本機では使用しません。

USBディスプレイ

本機では使用しません。

## 投写映像を調整する

### 投写映像のゆがみを調整する

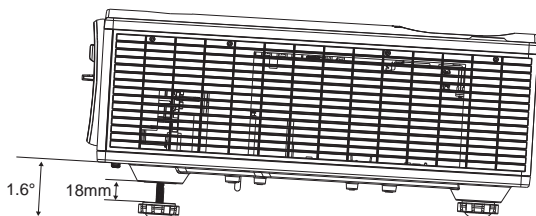
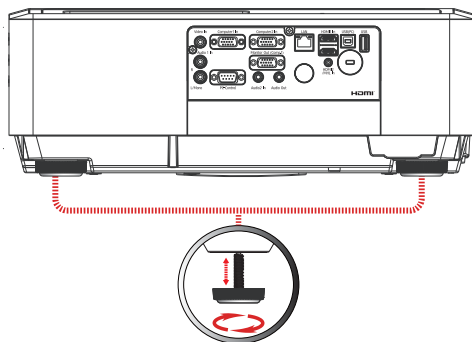
本機のアジャスタブルフットを調整して、投写映像のゆがみを調整できます。

1. 調整したいアジャスタブルフットの位置を確認します。
2. アジャスタブルフットの調整リングを時計回りに回すとプロジェクターと投写スクリーンの角度を大きく、反時計回りに回すと小さく調整できます。必要に応じて、アジャスタブルフットを調整してください。

※プロジェクターと投写スクリーンとの角度を直角にすることでゆがみの少ない投写映像にする事が出来ます。

#### 補足

※アジャスタブルフットを回転させると、約1.6度まで傾けられます。





## 画面の大きさとピントを調整する

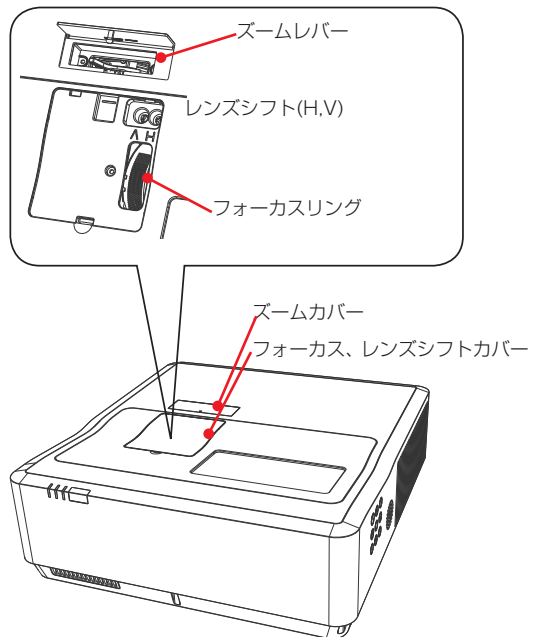
ズームレバーを回して投写画面の大きさを調整します。本体上面の「ズーム」と記載されたカバーをあけてズームレバーを操作します。

映像のピントを合わせるには、映像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。本体上面の「フォーカス、レンズシフト」と記載されたカバーをあけてフォーカスリングを操作します。

ピントが合う距離は以下のとおりです。

- ▶ RICOH PJ WXC4660 : 0.08~0.47m
- ▶ RICOH PJ WUC4650 : 0.08~0.47m

※この距離は本体の最もスクリーンに近い面とスクリーンの間の距離を示しています。



# 基本的な操作

## レンズシフト調整

レンズシフトを使用して投写位置の調整を行う場合は以下の様に実施します。

1. 本体上面の「フォーカス・レンズシフト」と記載されたカバーをあけます。
2. 投写映像の位置を確認しながら、レンズシフト(垂直方向はV、水平方向はH)の各ダイヤルを回して投写映像の位置を調整します。
3. 本体上面のカバーを閉じます。

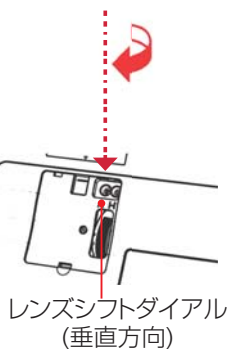
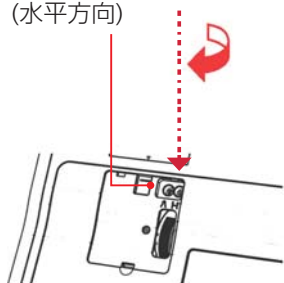
レンズシフトの調整範囲は画面サイズを基準として

水平方向 画面幅の  $\pm 2\%$

垂直方向 画面高さの  $\pm 3\%$

になります。

レンズシフトダイヤル  
(水平方向)



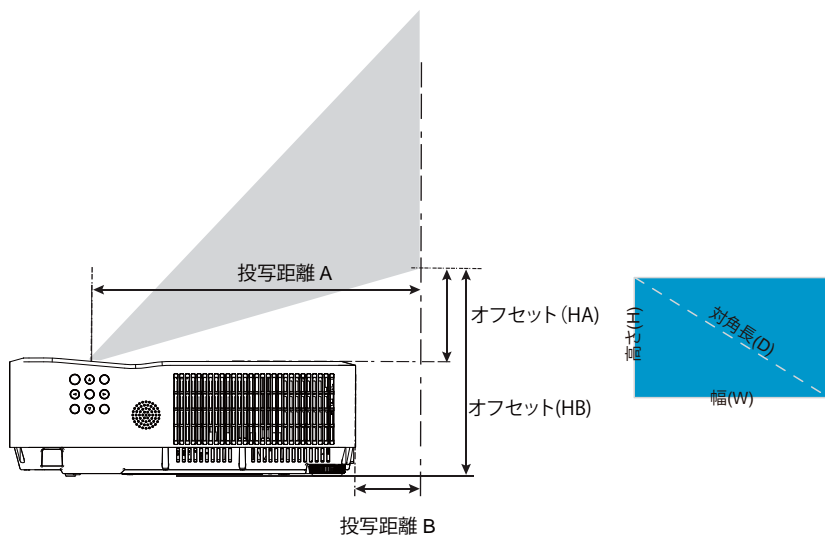
レンズシフトダイヤル  
(垂直方向)

## 投写映像の大きさを調整する

投写映像の大きさは、ズームレバー(p.37)と投写距離で調整します。

投写できる映像の大きさ(対角長)は以下のとおりです。

- ▶ RICOH PJ WXC4660  
1.8~3.3 m (70~130 型)
- ▶ RICOH PJ WUC4650  
1.8~3.3 m (70~130 型)



# 基本的な操作

## RICOH PJ WXC4660/RICOH PJ WUC4650

画面			投写距離(A)		投写距離(B)		オフセット(HA)		オフセット(HB)	
画面サイズ (型) 16:10	高さ (H) (mm)	幅 (W) (mm)	広角	望遠	広角	望遠	最小	最大	最小	最大
			(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)
70	942	1,508	410	432	80	101	128	184	276	333
80	1,077	1,723	468	493	138	163	155	219	303	368
90	1,212	1,939	527	554	197	224	181	254	330	402
100	1,346	2,154	585	615	255	285	208	289	357	437
110	1,481	2,369	643	676	313	346	235	324	383	472
120	1,615	2,585	701	738	371	408	262	358	410	507
130	1,750	2,800	759	799	429	469	288	393	437	542

❖ 参考値

# 各種設定のしかた

## メニューを使う

メニューを表示させて、映像などの調整や、各種設定の変更ができます。

### 操作のしかた

1. メニューを開くには、本体またはリモコンの [メニュー] を押します。
2. メニューが表示されたら、▲ または ▼ でメインメニューの項目のいずれかを選択します。調整したい項目が表示されたら、▶ または [決定] を押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ でサブメニューの項目のいずれかを選択し、▶ または [決定] を押して設定項目を表示します。設定を調整するには、◀ ▶ または ▲ ▼ を使用します。
4. サブメニューで次に調整したい項目を選択して、前述の方法で設定を調整します。
5. 変更を確定するには、[決定] または [メニュー] を押します。直前に選択していたメニュー画面に戻ります。
6. 設定操作を終了するには、もう一度 [メニュー] を押します。メニューが閉じて、変更した設定が自動的に保存されます。

### 補足

❖ 10 秒間ボタンの操作をしないと、メニューは自動的に消えます。



# 各種設定のしかた



## 映像調整

### 映像モード

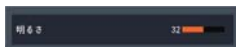
映像モードを選びます。▲ または ▼ で項目を選択します。



- ▶ 高輝度：明るさを重視したモードです。
- ▶ 標準：明るさと色の再現性のバランスがとれたモードです。
- ▶ ビビッド：色を強調したモードです。
- ▶ sRGB：sRGB に準拠したモードです。
- ▶ DICOM SIM：DICOM 規格に近似したモードです。

### 明るさ

映像の明るさを調整します。



- ▶ ◀ で映像を暗くします。
- ▶ ▶ で映像を明るくします。

### コントラスト

映像の最も明るい部分と暗い部分の輝度の差を変更して、映像に含まれる黒と白の強さを調整することができます。



- ▶ ◀ でコントラストを弱くします。
- ▶ ▶ でコントラストを強くします。

### 色の濃さ

映像の色の濃さを調整します。



- ▶ ◀ で映像の色を薄くします。
- ▶ ▶ で映像の色を濃くします。

# 各種設定のしかた

## 補足

※「シャープネス」、「色の濃さ」、「色彩」調整機能は、ビデオ/YPbPr 信号以外の入力時は使用できません。

## シャープネス

映像のシャープネスを調整します。



- ▶ ◀ でシャープネスを弱くします。
- ▶ ▶ でシャープネスを強くします。

## 色温度/壁色補正

低 / 中 / 高 / ダークグリーン / ライトイエロー / ライトブルーの中から選び、それに合わせて映像を調整します。低では暖色系、高では寒色系の色合いとなります。



## 詳細設定

映像設定を詳細に調整する事が出来ます。赤・緑・青の各色のレベルと自動減光を調整します。



### 赤レベル

赤レベルを調整します。

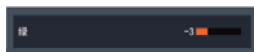
- ▶ ◀ で赤レベルを弱くします。
- ▶ ▶ で赤レベルを強くします。



### 緑レベル

緑レベルを調整します。

- ▶ ◀ で緑レベルを弱くします。
- ▶ ▶ で緑レベルを強くします。



### 青レベル

青レベルを調整します。

- ▶ ◀ で青レベルを弱くします。
- ▶ ▶ で青レベルを強くします。



# 各種設定のしかた

## 自動減光

自動減光を「入」にすると、黒い信号が入力されたときに光源が自動的に消えます。これにより、コントラストを上げることができます。

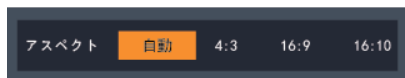




## 表示設定

### アスペクト比

画面のアスペクト比を選択します。



- ▶ 自動：適切な画面のアスペクト比を自動的に選択します。入力信号が 4:3 の時はアスペクト比 4:3 の映像を、16:9 またはそれ以上の時はアスペクト比 16:9 の映像を表示します。
- ▶ 4:3：アスペクト比 4:3 で表示します。
- ▶ 16:9：アスペクト比 16:9 で表示します。(HDTV や DVD からの映像を表示するときに選びます)
- ▶ 16:10：アスペクト比 16:10 で表示します。

### 補足

❖ 「サンプリング位相」、「サンプリング周波数」、「水平位置」と「垂直位置」は、コンピューター信号入力時しか調整できません。

### サンプリング位相

◀または▶で細かい線を表示したときの周期的な模様や、ちらつきをなくします。



### サンプリング周波数

◀または▶で、画面の水平方向に表示するドット数をお使いのコンピューターの出力解像度に合わせて調整します。



### 水平位置

投写する映像の水平位置を調整します。



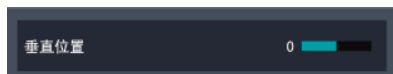
# 各種設定のしかた

▶ ◀ で映像を左に移動させます。

▶ ▶ で映像を右に移動させます。

## 垂直位置

投写する映像の垂直位置を調整します。



▶ ◀ で映像を下に移動させます。

▶ ▶ で映像を上を移動させます。

## 台形補正

本体の傾きによって起こる台形歪みの補正ができます。



▶ H/V 台形補正：水平 / 垂直方向の台形補正を行います。



[決定] を押すと、4 方向の矢印が表示されます。矢印キーで台形補正を行います。補正を行っている方向の矢印が赤く表示されます。補正の最大値に到達すると矢印の表示が消えます。

▶ 4点補正：4つのコーナーを基点としたゆがみ補正を行います。  
1) [決定] を押すと、左上コーナーに調整矢印が表示されます。  
[決定] を押すと、調整するコーナーが切り替わります。



2) ◀ ▶ または ▲ ▼ で調整を行います。  
3) 補正終了時はメニューキーを押します。

▶ 曲面スクリーン補正  
水平・垂直方向に、非線形や曲面に変形した投写映像を補正します。この機能は RICOH PJ WXC4660 のみで使用できます。

・XY ゲイン

## 補足

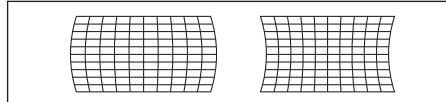
❖ 全ての矢印が白く表示されている状態は台形補正が行われていない状態を示します。

# 各種設定のしかた

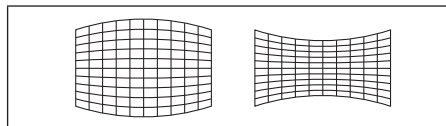
曲面スクリーン補正のメニューからXY ゲインを選んで[決定]を押します。



◀▶を押して水平方向に樽・糸巻形状への補正を行います。



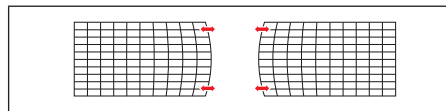
▲▼を押して垂直方向の樽・糸巻形状への補正を行います。



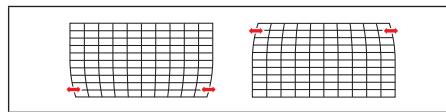
## ・ X オフセット

曲面スクリーン補正のメニューから X オフセットを選んで[決定]を押します。

- ▶を押して、上下右側の垂直線を補正します。
- ◀を押して、上下左側の垂直線を補正します。



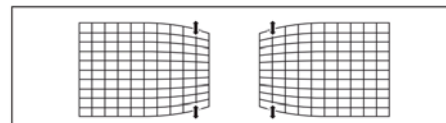
- ▲を押して、左右両側の上部の垂直線を補正します。
- ▼を押して、左右両側の下部の垂直線を補正します。



## ・ Y オフセット

曲面スクリーン補正のメニューから Y オフセットを選んで[決定]を押します。

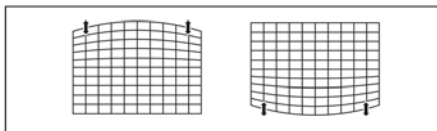
- ▶を押して、上下右側の水平線を補正します。
- ◀を押して、上下左側の水平線を補正します。



- ▲を押して、左右両側の上部の水平線を補正します。

# 各種設定のしかた

- ・▼を押して、左右両側の下部の水平補正します。



- ▶ 初期化：すべての設定を出荷時に戻します。(台形補正なし)。

## 設置状態

プロジェクターの設置方法に合わせて投写モードを設定します。



- ▶ 標準  
工場出荷時の初期設定です。映像が画面に正立して投写されます。
- ▶ 背面  
映像の左右が反転して投写されます。透過スクリーンの裏側に設置するときを使用します。
- ▶ 天吊り  
映像の上下が反転して投写されます。天井に逆さに吊って設置するときを使用します。
- ▶ 背面天吊り  
映像の上下左右が反転して投写されます。透過スクリーンの裏側から天井に逆さに吊って設置するときを使用します。

## 詳細設定

表示設定の詳細を設定できます。



- ▶ 自動天吊りモード

### 補足

❖ 自動天吊りモードが入りの場合、標準と背面が選択できます。

# 各種設定のしかた

## 補足

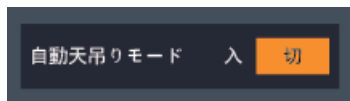
❖ ユーザーロゴは RICOH PJ WXC4660 のみで使用できます。

❖ ユーザーロゴ登録は“メモリービューワー”、“ネットワーク”、“USB ディスプレイ”の入力時は使用できません。

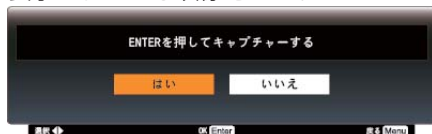
## 補足

❖ 「RGB 入力レンジ」は HDMI 入力以外では使用できません。

天吊状態を自動で判別するかどうかを選択します。



- ▶ ユーザーロゴ登録  
表示されている映像をユーザーロゴとして登録します。



登録したい映像を表示した後に [ 決定 ] を押します。

- ▶ 無信号背景  
無信号時の背景画像を選択します。



- ▶ RGB 入力レンジ  
HDMI 映像信号入力レンジを選択します。

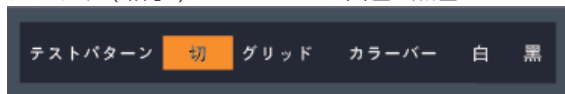


自動：RGB 入力レンジを自動的に検出します。

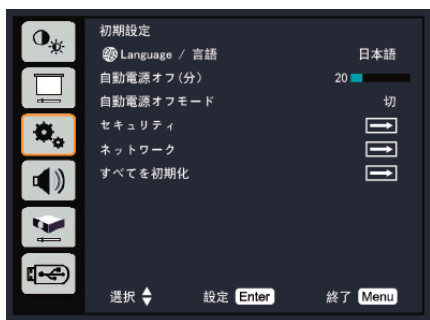
リミテッド：標準的なHDMI 映像機器と接続するときに選びます。

フル：コンピューターからの信号や、フルレンジに設定された映像機器からの信号を入力するときに選びます。

- ▶ テストパターン  
テストパターンを表示します。  
グリッド ( 格子 )、カラーバー、白色、黒色からパターンを選びます。



# 各種設定のしかた



## 初期設定

### 言語

メニューの表示言語を選択します。[決定]を押してサブメニューに入り、▲、▼、◀、▶キーで言語を選択します。[決定]を押して選択を確定します。

### 無信号電源オフ(分)

本機に入力されている信号が無信号になってから自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。



### 自動電源オフモード

無信号電源オフ時の動作について設定します。



- ▶ 切：無信号電源オフを無効にします。
- ▶ スタンバイ：無信号状態で設定時間が過ぎるとスタンバイ状態に移行します。
- ▶ ライトオフ>スタンバイ：無信号状態で設定時間が過ぎると、約1時間、光源をオフにします。さらに、無信号状態が続くと、スタンバイへ移行します。

### 補足

❖「自動電源オフ(分)」の初期設定値は20分です。

# 各種設定のしかた

## セキュリティ

セキュリティ設定を行います。



- ▶ キーロック：本体操作部、またはリモコンからの操作を無効にする事ができます。



- ・切：キーロックを無効にします。
- ・本体キー：本体操作部の操作を無効にします。
- ・リモコン：リモコンの操作を無効にします。

- ▶ セキュリティ：入にすると、電源オン時のパスワード入力が必要になります。セキュリティの設定変更にはパスワードの入力が必要です。

パスワードは◀▶キーで入力します。



- ▶ パスワード変更：パスワードの変更ができます。現パスワード、新パスワード、新パスワード（確認用）の入力を行います。

### 補足

❖ 初期パスワードは111です。

❖ 変更したパスワードを忘れた場合サービス実施店に連絡してください。

## ネットワーク

ネットワークコントロール設定を行います。設定に当たっては必ずネットワーク管理者の指示に従ってください



- ▶ DHCP:DHCPの入・切を切り替えます。▲▼で変更し、[決

# 各種設定のしかた

## 補足

※「適用」の操作をするまでは変更した値は反映されません。

定]で確定します。

- ▶ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS : DHCP が「入」の時  
IP アドレスを表示します。  
DHCP が「切」の時  
▲▼◀▶で変更します。
- ▶ 適用 : DHCP ・ IP アドレス ・ サブネットマスク ・ ゲートウェイの設定を変更した値に設定します。▶キーで設定します。
- ▶ ステータス : 状態を表示します。
- ▶ MAC アドレス : MAC アドレスの情報を表示します。

## 初期化

調整と設定を工場出荷時の初期設定値に戻します。「選択」を押すと、全てのメニュー項目の設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。使用時間と言語は初期設定に戻りません。



LAN 制御機能のパスワード等もリセットされます。リセット後必要に応じて再設定してください。





## 音声

### ミュート

音声出力を一時的にオフにします。

#### 補足

❖「ミュート」機能は、内蔵および外部スピーカーの両方に働きます。

- ▶ 「入」を選択すると、スピーカー出力を消音します。
- ▶ 「切」を選択すると、ミュートを解除します。

### 音量

音量を調整します。

- ▶ ◀ を押すと、音量が下がります。
- ▶ ▶ を押すと、音量が上がります。

### HDMI音声入力

映像を HDMI 入力にした時の音声の入力を選択します。

- ▶ HDMI：HDMI 入力端子からの音声を出力します。
- ▶ コンピューター：Audio2 入力端子からの音声を出力します。

# 各種設定のしかた



## オプション

### 補足

❖「メモリービューワー」は自動入力検索されません。

### 自動入力検索

「入」を選択すると、表示中の入力信号が途絶えた際に、別の入力信号を自動的に検索します。「切」を選択すると、指定された入力端子から入力を検索します。



### 入力信号

自動入力検索が「入」の時に検索する信号を選択します。▶ を押すと開くサブメニューで、検索する信号に[決定]を押してチェックを入れます。



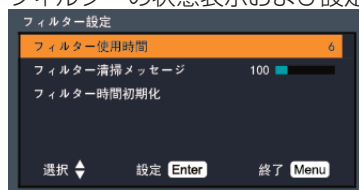
# 各種設定のしかた

## 光源電力

光源の明るさを選択できます。通常の明るさで投写するには「標準」を、消費電力を低減するには「エコ」を選択します。

## フィルター設定

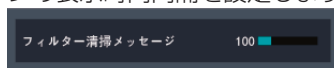
フィルターの状態表示および設定を行います。



### 補足

❖ 使用時の室温が40℃を超えると、本機は自動的に「エコ」モードに移行します。

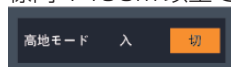
- ▶ フィルター使用時間：フィルターを清掃・交換したときからの使用時間を表示します。
- ▶ フィルター清掃メッセージ：フィルターの清掃・交換メッセージの表示時間間隔を設定します。



- ▶ フィルター時間初期化：フィルターを清掃・交換した時にフィルター使用時間をリセットします。

## 高地モード

「入」を選択すると、冷却ファンの回転が速くなります。本機を標高1400m以上で使用する場合は、「入」を選択してください。



## 電力設定

自動電源オンとスタンバイ時の電力の設定ができます。



- ▶ ダイレクトパワーオン：「入」にすると本機にAC電源が供給されると自動で電源が入ります。
- ▶ スタンバイ電源：ノーマルにすると、スタンバイ時のモニター出力、音声出力、PCコントロール端子からの制御、LAN制御ができます。



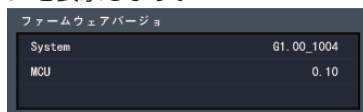
# 各種設定のしかた

## 情報

プロジェクターの情報を表示します。



- ▶ 入力：入力信号を表示します。
- ▶ 解像度：入力信号の解像度を表示します。
- ▶ フィルター使用時間：フィルターの清掃・交換後の使用時間を表示します。
- ▶ トータル時間：本機の使用時間を表示します。
- ▶ 光源電力：光源電力の設定を表示します。
- ▶ ファームウェアバージョン：本機のファームウェアのバージョンを表示します。





## メモリービューワー

メモリービューワーのスライドショーに関する設定を行います。

### 補足

❖メモリービューワーの機能は、入力信号に「USBメモリー」を選択した時に操作できません。

❖メモリービューワーで表示できるのは jpeg 形式のファイルのみになります。

❖メモリービューワーの操作方法は P60 を参照してください。

### スライドショー

スライドショーを開始します。スライドショーの設定は以下の項目で設定します。

#### 表示間隔

スライドショーの表示切替間隔を設定します。



#### ソート順

スライドショーで表示される順番を設定します。

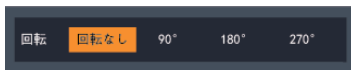


名前順：ファイル名の順番に表示されます。

時間順：ファイルの作成日時順に表示されます。

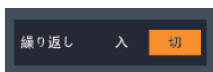
#### 回転

表示向きを設定します。



#### 繰り返し

フォルダー内のファイルを繰り返し表示するかを設定します。



#### 適用

表示間隔、ソート順、回転、繰り返しの設定をスライドショーに適用します。

## USBメモリー画像の表示

USBメモリーをプロジェクターにセットした時にメモリービューワーの機能が有効になります。

USBメモリーから投写できる画像は以下になります。

### 補足

❖ USB-HDDはサポートしていません。

❖ USBハブを介しての接続はできません。

画像	拡張子	解像度
	JPG/JPEG	最大入力解像度： 10000×10000 最大表示解像度： 1280×800(WXGA)

### USBメモリーの要求事項

#### 1. フォーマットとメモリーサイズ

フォーマット	メモリーサイズ (最大)	ファイルサイズ (最大)
FAT	4GB	2GB
FAT32	32GB	4GB

1. USBバージョン：USB2.0
2. 表示可能フォルダー/ファイル数：500.
3. デジタル著作権管理 (DRM) ファイルは表示できません。

### USBメモリー画像の表示方法

1. 本体操作部、またはリモコンの「入力」ボタンを押して「メモリービューワー」を選択します。
2. USB端子にUSBメモリーを接続します。プロジェクターには、

please press RC ENTER 

が表示されます。


3. 本体操作部、またはリモコンの「決定」を押します。
4. USBメモリーのルートディレクトリの内容がサムネール形式で表示されます。
5. ◀▶でファイルまたはフォルダーを選択し、「決定」を押します。画像またはフォルダーの内容が表示されます。
6. 画像が表示されているときに▶を押すと次の画像が表示されます。◀を押すと前の画像が表示されます。
7. 「決定」ボタンを押すとサムネール表示に戻ります。

# 各種設定のしかた

## スライドショーの開始、終了

1. サムネール表示された一覧から表示したい画像を ◀ ▶▲▼ で選択します。
2. ▲▼で「スライドショー」を選択し、「決定」ボタンを押します。画面に映像が投写され、スライドショーが開始されます。
3. 「決定」ボタンを押して、スライドショーから抜けてサムネール画面に戻ります。

## USBメモリーの取り外し

1. サムネール表示画面で◀ ▶を押してカーソルをサムネールの左上に合わせます。
2. 「決定」ボタンを押します。プロジェクターには  
  
が表示されます。
3. USBメモリーを抜き取ります。

# LAN制御機能

## ウェブブラウザで本機を制御する

### 補足

❖ 本機を既存のネットワークに接続する際は、必ずネットワーク管理者の指示に従って設定してください。

RICOH PJ WXC4660 / PJ WUC4650 では、PC からウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。

### 本機へ接続する

#### 1. 本機の IP アドレスの確認

本機のメニューで「初期設定」→「ネットワーク」を選択し、IP アドレスを確認します。

LAN		ネットワーク設定	
DHCP		切	入
IPアドレス		192 . 168 . 1 . 100	
サブネットマスク		255 . 255 . 255 . 0	
ゲートウェイ		192 . 168 . 1 . 1	
DNS		192 . 168 . 1 . 1	
適用		→	
ステータス		192 . 168 . 1 . 100	
MACアドレス		54 : 10 : EC : 2A : 18 : 9E	
選択	▼	設定	Enter
		終了	Menu

### 補足

❖ 本ウェブページは Java Script を使用しています。お使いになるブラウザの設定で Java Script をオンにご使用ください。

#### 2. 接続する

ウェブブラウザを開き確認した IP アドレスを入力します。たとえば、上図のように IP アドレスが表示された場合は `http://192.168.1.100/` と入力します。



## ログインする

1. ウェブページを開くと、下のような画面が表示されます。



### 補足

❖ パスワードに使用できる文字は英数字と記号のみで、最大 32 文字となります。使用できない文字を入力すると、「Invalid Character」と警告が表示されます。

2. パスワードを Password に入力します。  
初期パスワードは「admin」です。  
[Login] ボタンをクリックしてログインします。

ログインすると、画面左側に制御用のタブが表示されます。

# LAN制御機能

## システム状態 (System Status)

この画面にはプロジェクターの現在の状態が表示されます。ここではプロジェクターのコントロールはできません。



Network Display System > System Status	
System Status	Model Name: Resh PJ-189E
General Setup	Version:
Picture Setup	Firmware Version: 1.00.1007
Image Setup	LAN Status:
Network Setup	IP Address: 192.168.0.39
	Subnet: 255.255.255.0
	Gateway: 192.168.0.1
	Wire MAC Address: 34-10-e0-2a-18-9e

- ▶ Version : 本機を構成する各ファームウェアのバージョンを表示しています。
- ▶ LAN Status : IP アドレス等のネットワークの設定を表示しています。

## 設定 (General Setup)

この画面ではパスワードの設定、およびプロジェクターの電源操作、入力切替ができます。



### 補足

❖ パスワードに使用できる文字は英数字と記号のみで、最大 32 文字となります。

❖ Enter New Password に入力された文字と、Confirm Password に入力された文字が一致しない場合は、エラーメッセージが表示されるので再度入力してください。

- ▶ Change Password for Webpage :  
旧パスワード (Enter Old Password), 新パスワード (Enter New Password), 新パスワード確認 (Confirm New Password) を入力し「Apply」を押すとパスワードが変更されます。  
旧パスワードの間違い、新パスワードと新パスワード確認が合致していないとパスワードは変更されません。
- ▶ Power & Source :  
プロジェクターの電源のオン / オフ、入力信号の切替を行います。

## 映像調整(Picture Setup)

この画面では映像調整の設定ができます。



### 補足

❖ 「シャープネス」、「色の濃さ」調整機能は、ビデオ / YPbPr 信号以外の入力時は使用できません。

- ▶ Brightness : 映像の明るさを調整します。
- ▶ Contrast : 映像のコントラストを調整します。
- ▶ Sharpness : 映像のシャープネスを調整します。
- ▶ Saturation : 色の濃さを調整します。

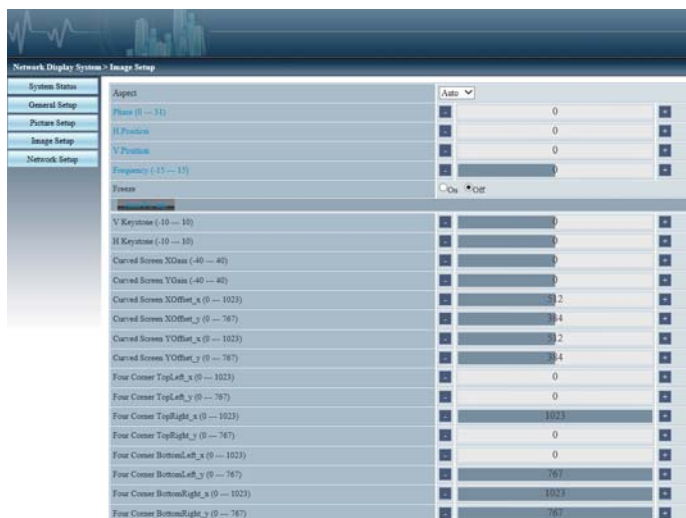
# LAN制御機能

## 画像調整(Image Setup)

画像調整のページでは、プロジェクターの画像の調整ができます。制御できる各項目について説明します。

機能ボタン: 各ボタンをクリックすると、機能のON/OFFが交互に切り替わります。(ON時の機能を説明しています。)

調整ボタン:+、-のボタンなどでプロジェクターの調整ができます。



[Aspect]	アスペクトを選びます。
[Phase]	サンプリング位相を+-ボタンで調整します。
[H.Position]	水平位置を+-ボタンで調整します。
[V.Position]	垂直位置を+-ボタンで調整します。
[Frequency]	サンプリング周波数を+-ボタンで調整します。
[Freeze]	表示映像を一時停止します。
[Auto PC Adj]	自動調整を実行します。
[H Keystone]	水平方向のキーストーンを調整します。
[V Keystone]	垂直方向のキーストーンを調整します。
[Curved screen ]	曲面補正に関する諸設定を行います。
[Four Corner]	4点曲面補正に関する諸設定を行います。

## ネットワーク設定 (Network Setup)



### 補足

❖ 本機では IPv6 はご使用いただけません。

IP アドレスなどのネットワークに関する設定を行います。DHCP、サブネットマスク (Subnet mask)、デフォルトゲートウェイ (Default gateway) の設定は、本機のメニューでも設定できます。

- ▶ DHCP よりネットワーク設定を自動的に行なう場合  
"Obtain an IP address automatically" にチェックをして、[Apply] をクリックします。
- ▶ ネットワーク設定を手動で行なう場合  
"Use the following IP address" にチェックをして、IP アドレス (IP Address)、サブネットマスク (Subnet)、デフォルトゲートウェイ (Gateway)、DNS サーバー (DNS) 欄に値を入れて、[Apply] をクリックします。

## プロジェクター管理ユーティリティで本機を制御する

### 補足

※本ソフトウェアは、当社のプロジェクターを管理するためのソフトウェアです。当社のプロジェクター以外の製品を管理すると、正常に動作しないことがあります。詳細についてはユーティリティのヘルプを参照してください。

※プロジェクター管理ユーティリティをアンインストールするときは、「コントロールパネル」にあるプログラム削除機能を使用して、“Projector Management Utility”を削除してください。

### プロジェクター管理ユーティリティについて

プロジェクター管理ユーティリティはPJLink クラス 1 の規格に適合し、クラス 1 のすべてのコマンドに対応しています。1 台のパソコンで、ネットワークに接続しているプロジェクターを 100 台まで管理できます。

プロジェクター管理ユーティリティの動作環境は次のとおりです。

- 対応 OS
- Windows Vista Ultimate / Business / Home Premium / Home Basic (32bit /64bit 版)
- Windows 7 Home Premium / Professional /Ultimate / Enterprise (32bit /64bit 版)
- Windows 8 Pro / Enterprise (32bit /64bit 版)
- Windows 8.1 Pro / Enterprise (32bit /64bit 版)
- Windows 10 Pro / Enterprise / Home / Education (32bit /64bit 版)
- Windows Server 2008 Standard SP2 以降 (32bit /64bit 版)
- Windows Server 2008 R2 Standard SP1 以降 (64bit 版)
- メモリーサイズ

使用している OS の推奨メモリーサイズに準拠

- 表示解像度  
800 × 600 ピクセル以上

### プロジェクター管理ユーティリティをインストールする。

プロジェクター管理ユーティリティは付属の CD-ROM に格納されています。

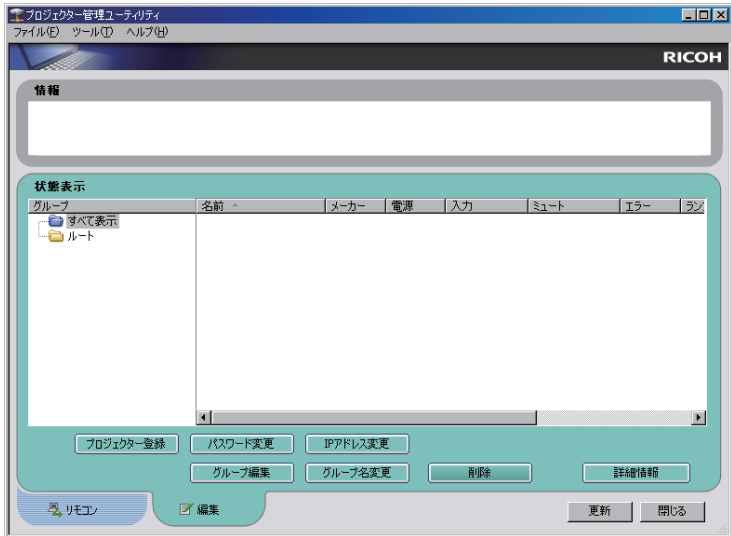
ユーティリティをインストールまたはアンインストールするときは、管理者権限でログインしてください。

1. すべてのアプリケーションを閉じます。
2. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしたあと、言語選択画面が表示されますので [X] をクリックしてウィンドウを閉じます。
3. CD-ROM のアイコンを右クリックして、[開く] を選びます。
4. CD-ROM 内の “Projector Management Utility” フォルダを開きます。
5. “Projector Management Utility” フォルダ内の setup.exe をダブルクリックします。
6. 画面の指示に従って、インストールを実行します。
7. インストールが完了したら、「完了」をクリックします。デスクトップにショートカットアイコンが作成されます。

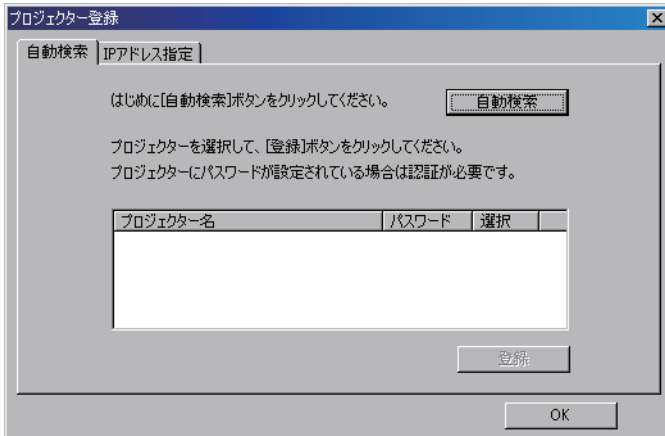
## プロジェクターを登録する

### 1. 自動検索でプロジェクターを登録する場合

[プロジェクター登録] ボタンをクリックします。

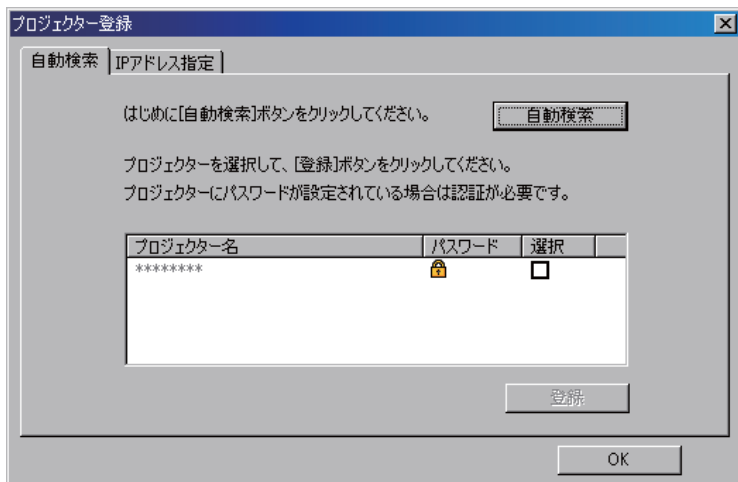


[自動検索] ボタンをクリックします。

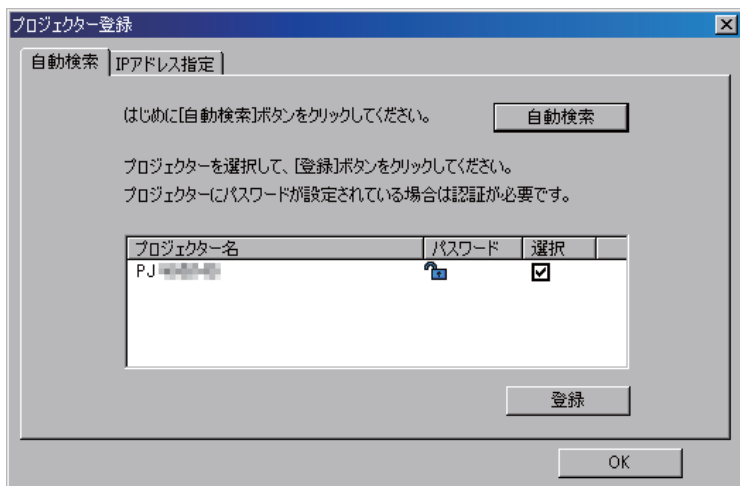


# LAN制御機能

ネットワーク内のPJLink 対応プロジェクターの一覧が表示されます。パスワードが設定されているプロジェクターは、認証されるまで「\*\*\*\*\*」と表示されます。



コントロールしたいプロジェクターを選んで、[登録] ボタンをクリックします。パスワードが有効に設定されている場合は、パスワード認証が必要になります。

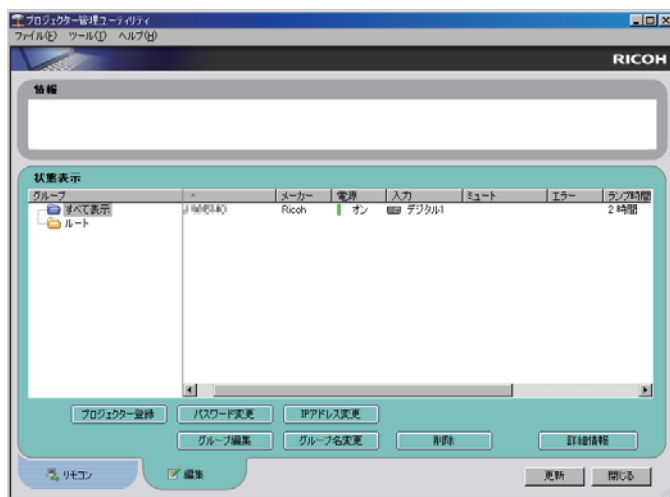


[OK] ボタンをクリックしてもとの画面に戻ります。



# LAN制御機能

登録されたプロジェクターが表示されます。



# LAN制御機能

## 2. IPアドレスを直接入力してプロジェクターを登録する場合

・プロジェクターのIPアドレスを入力して[確認]ボタンをクリックすると、プロジェクター名が表示されます。問題が無ければ[登録]ボタンをクリックしてください。プロジェクターが登録されます。

プロジェクト登録

自動検索 IPアドレス指定

IPアドレスを入力して、[確認]ボタンをクリックしてください。  
プロジェクター名を確認して、[登録]ボタンをクリックしてください。

IP アドレス 192 168 0 100

プロジェクター名 PJ WX5140

確認 登録

OK

[OK] ボタンをクリックするともとの画面に戻ります。

# LAN制御機能

## プロジェクター管理ユーティリティでプロジェクターを制御する

プロジェクターを制御するには、「リモコン」タブを押してリモコン画面に切り替えます。一覧表示されている中から制御したいプロジェクター（/グループ）を選び、画面下部のボタンで制御します。

### [電源] ボタン

プロジェクター（/グループ）一覧から選択したプロジェクターおよびグループの電源を「オン/オフ」します。



### [入力切換] ボタン

プロジェクター（/グループ）一覧から選択したプロジェクターおよびグループの入力を切換えます。プロジェクターが指定された入力に対応していない場合は、入力は切換わりません。



本機のプロジェクター管理ユーティリティの入力表示と実際の入力信号の対応は以下のようになっています。

本機の入力名	PJLink の入力名
コンピューター1	RGB1
コンピューター1	RGB2
ビデオ	VIDEO1
Y/Pb/Pr	VIDEO3
HDMI1	DIGITAL1
HDMI2/MHL	DIGITAL2
USBメモリー	STRAGE1
USBディスプレイ	NETWORK1
ネットワーク	NETWORK2

### [ミュート] ボタン

プロジェクター（/グループ）一覧から選択したプロジェクターおよびグループのミュートを「オン/オフ」にします。本機では映像のみや音声のみのミュートに対応していないため、映像や音声を選んでもミュートは切換わりません。



### [詳細情報] ボタン

選択されたプロジェクターについての詳細情報画面を表示します。

# 故障かな・・・と思ったときは

本機のトラブルが発生したら、次の情報を参照してください。  
症状が改善されないときは、販売店もしくはサービス実施店  
まで連絡してください。

## 症状：電源が入らない

- ▶ 電源コードのプラグやコネクターが正しく接続されているか確認してください。
- ▶ 電源を切る際に冷却動作が終了する前に電源コードを抜いて機内の温度が下がりきっていない場合、次の電源オン時に冷却動作が入ります。冷却動作が終わるまでしばらくお待ちください。

## 症状：使用中に電源が切れる

- ▶ 周囲の温度が高くないか確認してください。
- ▶ 吸気口や排気口がふさがれていないか確認してください。

## 症状：画面に映像が出ない

- ▶ すべてのケーブルや電源の接続に間違いがなく、「設置」の章で示されたようにしっかりと接続されているか確認します。
- ▶ コネクターのピンが曲がっていたり壊れたりしていないか確認します。
- ▶ [AV ミュート] 機能が働いていないか確認します。
- ▶ [自動入力検索] が [切り] の場合、正しい入力先が選択されていることを確認します。

## 症状：音が出ない

- ▶ [自動入力検索] が [切り] の場合、正しい入力先が選択されていることを確認します。
- ▶ AV ミュート機能、ミュート機能がはたっていないか確認します。
- ▶ 音量を確認してください。
- ▶ パソコンや AV 機器が、本機と正しく接続されていることを確認してください。

# 故障かな・・・と思ったときは

## 症状：映像が部分的に映る、スクロールするまたは正常に映らない

- ▶ リモコンの [オートセット] を押します。
- ▶ コンピューターの画面設定を開いて、表示解像度が 1600 × 1200 ドット以下に設定されていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング・システムのヘルプファイルを参照してください。
- ▶ ノートパソコンを使用しているとき：
  1. 最初に、上記の手順に従ってコンピューターの解像度を調整します。
  2. トグル出力設定を押します。例：[Fn] + [F3]

PANASONIC、NEC → Fn + F3  
HP、SHARP、TOSHIBA → Fn + F5  
IBM、SONY → Fn + F7  
DELL、EPSON → Fn + F8  
FUJITSU → Fn + F10  
APPLE → F7

- ▶ 解像度の変更がうまくいかなかったり、モニターがフリーズしたりするときは、本機を含めたすべての機器を再起動します。

# 故障かな・・・と思ったときは

## 症状：ノートパソコンの画面が表示されない。

- ▶ ノートパソコンを使用している場合：  
製品によっては、外部出力を接続すると内蔵画面がオフになるものがあります。再度オンにする方法は、製品によって異なります。詳細については、お使いのコンピューターのマニュアルを参照してください。

## 症状：映像が安定しない、またはちらつく

- ▶ 「サンプリング位相」または「サンプリング周波数」を適切な値に調整します。詳細については、「水平位置」または「垂直位置」を参照してください。
- ▶ コンピューターの表示モードを確認して再設定します。本機と互換性のあるモードを選んでください。

## 症状：映像のピントが合わない

- ▶ フォーカスリングを調整してください。
- ▶ スクリーンまでの距離が所要の範囲内であることを確認します。  
(39～40 ページを参照)

## 症状：DVD を表示するとき映像が引き伸ばされる

リモコンの [アスペクト] を押すか、メニューの「スクリーン」→「アスペクト比」を選択して、映像が適切なアスペクト比で表示されるよう調整します。

## 症状：映像が小さすぎる、または大きすぎる

- ▶ 本機上部のズームレバーを調整します。
- ▶ 本機をスクリーンに近づけるか、スクリーンから離します。
- ▶ リモコンの [アスペクト] を押すか、本機の操作部にある「メニュー」ボタンを押してメニューを開き、「スクリーン」→「アスペクト比」で別の設定を試みます。

## 症状：映像が反転する

- ▶ メニューの「スクリーン」→「設置状態」で、映像の表示方法を選択します。

# 故障かな・・・と思ったときは

## 症状：インジケータの点灯によるメッセージ

インジケータ			プロジェクターの状態
電源	状態	フィルター	
○	○	○	プロジェクターが電源オフの状態です。(AC電源が接続されていません)
●	○	○	プロジェクターはスタンバイの状態です。
●	○	○	プロジェクターの電源が入り、使用状態となっています。
●	○	○	プロジェクターがスタンバイモードへ移行しています。光源の冷却が終了して点滅が終了した後で、電源を入れる事ができます。
●	○	○	プロジェクターはライトオフモードとなっています。
●	●	○	ファンエラーが発生して、プロジェクターが使用不能となっています。サービス実施店へ連絡してください。
●	● 0.5s	○	メイン基板のエラーが発生して、プロジェクターが使用不能となっています。サービス実施店へ連絡してください。
●	● 1s	○	LCDパネルのエラーが発生して、プロジェクターが使用不能となっています。サービス実施店へ連絡してください。
●	● 2s	○	HDMIのエラーが発生して、プロジェクターが使用不能となっています。サービス実施店へ連絡してください。
●	●	○	光源のエラーが発生して、光源を冷却しています。サービス実施店へ連絡してください。
●	●	○	光源のエラーが発生して、スタンバイモードに移行しました。サービス実施店へ連絡してください。
● 0.5s	● 1s	○	プロジェクターの内部温度が高温となり、使用できません。
●	● 1s	○	プロジェクターの内部温度が高温となったためスタンバイモードへ移行しています。
● 0.5s	● 0.5s	○	プロジェクターの使用環境温度が高温となり、使用できません。
●	● 0.5s	○	プロジェクターの使用環境温度が高温となったためスタンバイモードへ移行しています。
● 0.5s	● 2s	○	プロジェクターの光源温度が高温となり、使用できません。
●	● 2s	○	プロジェクターの光源温度が高温となったためスタンバイモードへ移行しています。
○	○	●	指定したフィルター使用時間に達しました。フィルターの清掃または交換を実施してください。

### 補足

- ...緑点灯
- ...緑点滅
- ...赤点滅
- ...赤点滅
- ...黄点灯
- ...黄点滅
- ...オフ

# 故障かな・・・と思ったときは

## インターネットのFAQページを閲覧する

リコーでは、お客様からいただく良くあるご質問（FAQ）をホームページで公開しています。

プロジェクターについての疑問や質問はよくある質問をまとめたFAQを確認してください。ホームページのURLは次のとおりです。

<http://www.ricoh.co.jp/support/qa/>

検索方法はお使いのモデルを選択し、以下の2種類から検索します。

### 番号検索

空欄にFAQ番号を入力し、検索ボタンを押してください。

FAQデータベースから、該当する番号の回答を検索できます。

### キーワード検索

空欄にキーワードを入力し、検索ボタンを押してください。

FAQデータベースから、該当する回答の候補を検索できます。



# フィルターの清掃・交換

## フィルターの清掃・交換の前に

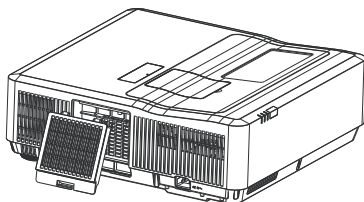
フィルターの清掃・交換の前に、プロジェクターの電源を切り、ACコードを抜いてください。

## フィルターの清掃・交換

フィルターの使用時間が指定された時間を超えたメッセージが表示された、またはフィルターインジケーターが点灯した場合、以下の手順でフィルターの清掃もしくは交換を実施してください。

### 補足

- ❖ フィルターを取り付けない状態でプロジェクターを使用しないでください。埃や塵がプロジェクターのLCD表示装置に付着し、投写品位を著しく悪化させます。



### フィルターの清掃

1. プロジェクターの電源を切り、ACコードを抜いてください。
2. フィルターを外します。
3. 柔らかなブラシ等を用いてフィルターを清掃します。
4. フィルターを本体に取り付けます。

### フィルターの交換

1. プロジェクターの電源を切り、ACコードを抜いてください。
2. フィルターを外します。
3. 新しいフィルターを取り付けます。

### 補足

- ❖ プロジェクターの性能を保つために交換フィルターは"RICOH PJ 交換用フィルタータイプ8"を使用してください。

### フィルター使用時間のリセット

フィルター使用時間をリセットします。P57を参照してください。

## 対応信号一覧表

A. コンピューター入力				
(1) RGBアナログ—PC信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
VGA	640×480	60	31.47	25.18
	640×480	67	35.00	26.80
	640×480	72	37.86	31.50
	640×480	75	37.50	31.50
	640×480	85	43.27	36.00
SVGA	800×600	56	35.20	36.00
	800×600	60	37.88	40.00
	800×600	72	48.08	50.00
	800×600	75	46.88	49.50
	800×600	85	53.67	56.25
XGA	1024×768	60	48.36	65.00
	1024×768	70	56.48	75.00
	1024×768	75	60.02	78.75
	1024×768	85	68.67	94.50
SXGA	1280×1024	60	63.98	108.00
	1280×1024	72	77.90	134.60
	1280×1024	75	79.98	135.00
QuadVGA	1280×960	60	60.00	108.00
SXGA+	1400×1050	60	65.32	121.75
UXGA	1600×1200	60	75.00	162.00
	1920×1080	60	67.50	148.50
MAC	832×624	75	49.10	57.30
	1152×864	75	67.50	108.00

## A. コンピューター入力

(2) RGBアナログーワイド信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
WXGA	1280×720	60	44.80	74.20
	1280×800	60	49.60	83.50
	1366×768	60	47.74	84.80
	1440×900	60	59.9	106.5
WSXGA	1680×1050	60	65.30	146.25
WUXGA	1920×1200 - RB	60	74.0	154.00
(3) コンポーネント信号				
480i	720×480	59.94 (29.97)	27.00	—
480p	720×480	59.94	31.47	—
576i	720×576	50 (25)	27.00	—
576p	720×576	50	31.25	—
720p	1280×720	60	45.00	—
	1280×720	50	37.50	—
1080i	1920×1080	60 (30)	33.75	—
	1920×1080	50 (25)	28.13	—
1080p	1920×1080	23.98/24	27.00	—
	1920×1080	60	67.50	—
	1920×1080	50	56.25	—

## B. HDMI

(1) HDMI—PC信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
VGA	640×480	60	31.47	25.18
	640×480	67	35.00	26.80
	640×480	72	37.86	31.50
	640×480	75	37.50	31.50
	640×480	85	43.27	36.00
SVGA	800×600	56	35.20	36.00
	800×600	60	37.88	40.00
	800×600	72	48.08	50.00
	800×600	75	46.88	49.50
	800×600	85	53.67	56.25
XGA	1024×768	60	48.36	65.00
	1024×768	70	56.48	75.00
	1024×768	75	60.02	78.75
	1024×768	85	68.7	94.5

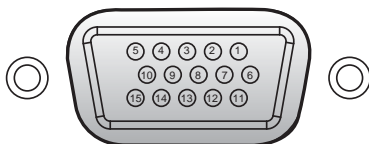
## B. HDMI

(1) HDMI—PC信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
SXGA	1280×1024	60	63.98	108.00
	1280×1024	72	77.90	134.60
	1280×1024	75	79.98	135.00
QuadVGA	1280×960	60	60	101.3
SXGA+	1400×1050	60	65.32	121.75
UXGA	1600×1200	60	75.00	162.00
MAC	832×624	75	49.10	57.30
	1152×864	75	67.50	108.00
(2) HDMI—PC ワイド信号				
WXGA	1280×720	60	44.80	74.20
	1280×800	60	49.60	83.50
	1366×768	60	47.74	84.80
	1440×900	60	59.9	106.5
WSXGA+	1680×1050	60	65.30	146.25
1080P	1920×1080	60		
WUXGA	1920×1200 - RB	60	66.60	138.50
(3) HDMI—ビデオ系信号				
480i	720×480 (1440×480)	59.94 (29.97)	27.00	—
480p	720×480	59.94	31.47	—
576i	720×576 (1440×576)	50 (25)	27.00	—
576p	720×576	50	31.25	—
720p	1280×720	60	45.00	—
	1280×720	50	37.50	—
1080i	1920×1080	60 (30)	33.75	—
	1920×1080	50 (25)	33.75	—
1080p	1920×1080	60	67.50	—
	1920×1080	50	56.25	—
	1920×1080	24/23.98	27.00	—

C. メモリービューワー				
		モード		
		WXC4660	WUC4650	
表示解像度		1280X800		
画像フォーマット		Jpeg		
最大入力解像度	画素	10000x10000		
	サイズ	2048MB		

## 端子の形態

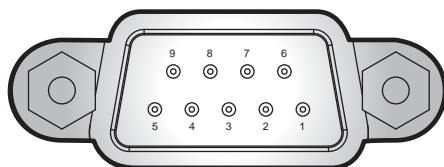
端子：コンピューター入力端子（ミニDサブ15ピン）[モニター出力端子]



1	赤 (R/Cr) 入力/R出力	9	DDC 5V/NC
2	緑 (G/Y) 入力/G出力	10	グラウンド (垂直同期)
3	青 (B/Cb) 入力/B出力	11	NC*
4	NC*	12	DDCデータ/[NC*]
5	グラウンド (水平同期)	13	水平同期入力/出力 (水平/垂直複合同期)
6	グラウンド (赤)		
7	グラウンド (緑)	14	垂直同期入力/出力
8	グラウンド (青)	15	DDCクロック/NC

\* 何も接続しないでください。

端子：PC制御 (Dサブ9ピン)



1	NC*	6	NC*
2	RXD (データ受信)	7	NC*
3	TXD (データ送信)	8	NC*
4	NC*	9	NC*
5	GND	* 何も接続しないでください。	

## 仕様

## ■ 一般仕様一覧

項目	モデル名	
	RICOH PJ WXC4660	RICOH PJ WUC4650
LCD	0.76" WXGA	0.76" WUXGA
投写レンズ	手動ズーム (1.05x) および手動フォーカス	
投写距離 (フォーカス範囲)	< 広角 > 410~759mm	
	< 望遠 > 432~799mm	
スローレシオ (距離 / 幅)	0.27~0.29	
寸法 (幅×高さ×奥行)	425(W) x 449(D) x 151(H) mm (突起部除く)	
	425(W) x 449(D) x 153(H) mm (突起部含む)	
質量	約 10.9 kg	
入出力端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューター1入力端子</li> <li>• コンピューター2入力端子</li> <li>• HDMI1入力端子</li> <li>• HDMI2/MHL入力端子</li> <li>• モニター出力端子</li> <li>• 音声1入力端子</li> <li>• 音声2入力端子</li> <li>• 音声出力端子</li> <li>• LAN端子</li> <li>• USB端子(タイプA)</li> <li>• USB端子(タイプB)</li> <li>• PCコントロール端子</li> </ul>	
スピーカー	10W × 2	
光源寿命	20000 時間	
騒音	標準モード: 37.5dB (A) エコモード: 33.5dB (A)	
待機電力 (モニター出力オフ)	0.5W 以下	
動作/保管環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 動作温度: 5~40℃ 湿度: 20~80% (結露なし)</li> <li>• 保管温度: -20~60℃ 湿度: 20~80% (結露なし)</li> </ul>	
消費電力	エコモード: 295W	エコモード: 307W
	標準モード: 435W 最大: 455W	標準モード: 442W 最大: 462W

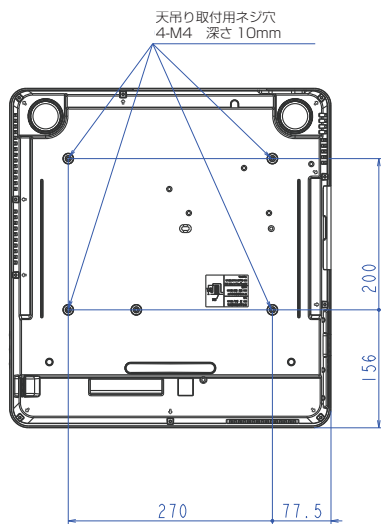
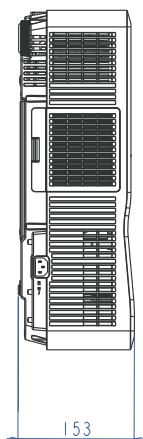
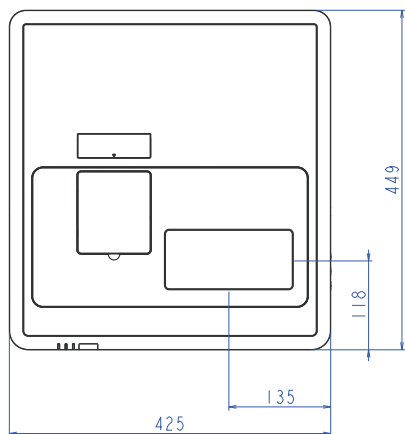
- ・ オプション販売品  
RICOH PJ 交換用フィルター タイプ8

## 補足

- ・ 本機は上記仕様に準拠しています。
- ・ 設計、仕様などは予告なく変更することがあります。
- ・ 本機は新しく追加された機能および/または仕様に対応しないことがあります。

## 外形寸法

単位: mm



天吊り用マウント穴  
取り付けネジ径および最大長：  
M4 x 10mm



## 商標

- IBMは、米国 International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintosh、Mac OS X、iMac、およびPowerBookは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- MHL, Mobile High-Definition Link, およびMHLロゴはMHL, LLCの商標または登録商標です。
- KensingtonはACCO Brands Corporationの商標です。
- Blu-rayはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。





## ■ 消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売担当者にご注文ください。

<http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html>

## ■ 保守部品について

補修用性能部品及び消耗品の最低保有期間は、本機の製造中止後、7年間です。

したがって、本期間以降は、修理をお引き受けできない場合があります。

## ■ 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、販売担当者にお問い合わせください。

修理範囲(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、販売担当者にご連絡ください。転居先の最寄りの販売担当者をご紹介します。

## ■ 操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「リコーテクニカルコールセンター」にお問い合わせください。

イチイチイチ  
**0120-892-111**

●受付時間: 平日(月～金)9時～17時(土日、祝祭日、弊社休業日を除く)

●お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/contact/index.html>